

付 属 資 料

用語解説

【ア行】

◆ICT（情報通信技術）

情報処理及び情報通信、つまり、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称です。

◆アグリビジネス

アグリビジネスとは、農業に関連する幅広い経済活動を総称する用語です。文字通りアグリカルチャー（農業）とビジネス（事業）を組み合わせた造語であり、アグリビジネスに含まれる領域は農業機械・農薬・肥料などの農業資材、品種改良、株式会社の農業参入、農産物の流通・加工・販売など多岐にわたります。

◆ウェブページ

インターネット上で公開されている文書。

◆AR（Augmented Reality＝拡張現実）

人が知覚する現実環境をコンピュータにより拡張する技術、及びコンピュータにより拡張された現実環境そのものを指す言葉です。ARはバーチャルリアリティ(VR)の変種であり、その時周囲を取り巻く現実環境に情報を付加・削除・強調・減衰させ、文字通り人間から見た現実世界を拡張するものを指します。バーチャルリアリティが人工的に構築された現実感と現実を差し替えるのに対し、拡張現実とは現実の一部を改変する技術です。

【カ行】

◆ガイドダンスセンター

不慣れで事情のわからない者に対して、初歩的な説明、案内をする施設のこと。

◆グリーン・ツーリズム

自然豊かな農山漁村において、農家民宿等に滞在しながら農林漁業を体験したり、地域の人たちとの交流を楽しむ滞在型余暇活動。特産品、自然・文化等、地域の豊かさを再認識するとともに、地域活性化の手段としても注目されています。

◆合計特殊出生率

人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子供の平均数を示します。この指標によって、異なる時代、異なる集団間の出生による人口の自然増減を比較・評価することができます。

◆コミュニティバス

地域住民の移動手段を確保するために、地方自治体などが実施するバスのこと。

【サ行】

◆サテライトファーム

衛星、人工衛星を意味するが、ここでは、大学の本拠から離れた所に設置された農場のこと。

◆自主防災組織

主に、町内会、自治会が母体となって地域住民が自主的に連携して防災活動を行う任意団体のこと。

◆シミュレーション

模擬実験のこと。コンピュータなどを使って実際の実験をせず、モデルによる解析を行います。

◆重要業績評価指標（K P I）

施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標です。総合戦略では、原則として、当該施策のアウトカムに関する指標を設定するものとします。

◆純移動率

特定の時期、場所における転入者と転出者の差を表した人口統計学の用語です。通常純移動率は1000人当たりの転出入の数を割合として算出します（算出の際に分母となる人口は測定期間内の平均値を使用します）。

◆職権記載者

住民基本台帳法第22条の規定に基づく転入届をしないため、職権により住民票に記載された者をいいます。

◆職権削除者

住民基本台帳法第24条の規定に基づく転出届をしないため、職権により住民票から削除された者をいいます。

◆人口置換水準

人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと。若年期の死亡率が低下すると人口が減りにくくなるので、この水準値は減少します。

◆スキルアップ

腕前を上げること。技術力を高めること。

◆セミナー

研究講習会のこと。

【タ行】

◆タブレット型端末

液晶画面などの表示部分にタッチパネル（画面上の表示を押すことで機器を操作する入力装置）を搭載し、指で操作する携帯情報端末の総称。

◆団塊ジュニア世代

1971 年（昭和 46 年）から 1974 年（昭和 49 年）までのベビーブームに生まれた世代のことです。 第二次ベビーブーム世代とも呼ばれます(第一次ベビーブームは団塊世代)。

◆タンデム自転車

複数のサドルとペダルを装備し、複数人が前後に並んで乗り同時に駆動することができる自転車。通常 2 人乗りですが、3 人、4 人、5 人乗りのためのものもあります。

◆地域防災士

地域の防災意識の啓発、防災力の向上に努め、災害発生時には避難誘導・救助にあたる人。日本防災士機構の認定する民間資格。

◆地方創生コンシェルジュ

地方公共団体が、地方版総合戦略の策定を含め地域の地方創生の取り組みを行うにあたり、国が相談窓口を設け積極的に支援するための体制として、国の職員等による「地方創生コンシェルジュ」を設置しています。

◆昼夜人口比

常住人口 100 人当たりの昼間人口の割合を示します。

◆デジタルサイネージ（Digital Signage＝電子看板）

表示と通信にデジタル技術を活用して、平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や情報を表示する広告媒体のことです。

◆転出超過、転出超過数

転出超過とは、一定期間における転出者数が転入者数を上回っている状態をいいます。

転出超過数＝転出者数－転入者数

◆転入超過、転入超過数

転入超過とは、一定期間における転入者数が転出者数を上回っている状態をいいます。

転入超過数＝転入者数－転出者数

【ナ行】

◆二地域居住

都市住民が本人や家族のニーズ等に応じて、多様なライフスタイルを実現するための手段の一つとして、農山漁村等の同一地域において、中長期（1～3 か月）、定期的・反復的に滞在することなどにより、当該地域社会と一定の関係を持ちつつ、都市の住居に加えた生活拠点を持つこと。

◆認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づき、経営を改善するための計画（農業経営改善計画）が、①市町村基本構想に照らして適切であり、②その計画が達成される見込みが確実で、③農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切である、との基準に適合するとして市町村から認定を受けた者。認定農業者には、低金利融資制度、農地流動化対策、担い手を支援するための基盤整備事業等の各種施策が重点的に実施されています。

【ハ行】

◆バイヤー

小売店や通信販売会社の仕入れ責任者が価格や売買戦略などを取引メーカーや卸売業者と話し合う人の事を言います。

◆ハザードマップ

災害により危険が予想される地域や避難経路、避難場所を示した地図のこと。対象とする災害は、洪水、土砂災害、津波等であり、それぞれの目的に応じて別々の機関で作成されています。

◆バブル経済期

概ね不動産や株式をはじめとした時価資産価格が、投機によって経済成長以上のペースで高騰して実体経済から大幅にかけ離れ、しかしそれ以上は投機によっても支えきれなくなるまでの経済状態を指す期間です。

◆ハローワーク

公共職業安定所の愛称。

◆ビジネスプロモーション

プロモーションとはマーケティングの 4P の一つで、消費者の購買意欲を喚起するための活

動のことをいいます。主な手段として人的販売、広告、パブリシティ、セールス・プロモーションなどがあります。

◆ビジネスマッチング

求人と求職のニーズが一致すること。また、商品やサービスの提供側とその利用者側との間に入って結びつけてビジネスにつなげることをいいます。

◆ヒューマンネットワーク

人と人とのコミュニケーションが発生する場、人と人とのつながり

◆PDCAサイクル

事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善していきます。

◆ブラッシュアップ

ブラッシュアップとは、磨き上げるという意味であり、一旦完成したものをより良くするために手直しする、磨き直しを含めて、今以上に技術や能力を磨き上げるときに使われます。

◆ブランディング

ブランディングとは、顧客の視点から発想し、ブランドに対する共感や信頼など顧客にとっての価値を高めていく企業と組織のマーケティング戦略の一つです。ブランドとして認知されていないものをブランドへと育て上げる、あるいはブランド構成要素を強化し活性・維持管理していくことであり、またその手法です。

◆フリーペーパー

広告収入を元に定期的に制作され、無料で特定の読者層に配布される印刷メディアです。

◆ブログ

個人や数人のグループで運営され、投稿された記事を主に時系列に表示する日記的なウェブサイトの総称。

◆プロモーションビデオ

宣伝・販売促進用のビデオソフトのこと。

【マ行】

◆ミスマッチ

雇用のミスマッチとは、求人と求職のニーズが一致しないことです。ニーズの不一致には、

求人需要が高い業種と求職需要の高い業種の不一致や、求人過剰の職種と求人不足の職種といった「業種・職種間ミスマッチ」、能力・経験・年齢・勤務条件などの不一致による「条件ミスマッチ」、求職者の性格や意欲が会社の風土に合わないといった「性格・意欲ミスマッチ」などがあります。

◆マルシェ

フランス語で「市場」という意味。

【ヤ行】

◆U・I・J ターン

Uターン：出身地から地域外へ進学や就職のため都会に出た後、出身地に戻る。

I ターン：出身地にかかわらず、住みたい地域を選択し移り住むこと。

J ターン：出身地から地域外へ進学や就職のため都会に出た後、出身地の近隣地域に戻る。

【ラ行】

◆ライフスタイル

生活の様式・営み方を指します。また、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方の事も言います。

◆連携中枢都市圏

人口減などの課題を抱える地方の活性化に自治体が広域で連携して取り組む仕組みのこと。

【ワ行】

◆ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和のことであり、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを指します。

◆ワンストップ窓口

複数の行政サービスを1つの窓口で受けられる機能のこと。これにより、住民が複数の窓口に出向く手間や労力を削減する効果があります。